

# 宝木校区 人権協だより

## 新型コロナウイルス

### 感染症と人権

会長 秋山 智博

新型コロナウイルスは依然として猛威を振るっています。世界の感染者千三百万人・死者五十七万人。国内では感染者二万二千人・死者約千人の状況。

(7月15日時点)

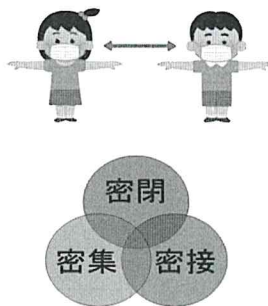
鳥取市は4月に2例のみでしたが、7月上旬の3例目の確認で市内中に緊張が走りました。改めていつでもどこでも誰でもが感染するこのウイルスの怖さを共有しましょう。(県内5例発生、7月15日現在)

コロナ対策の第一は、感染症の疑いがある方だけでなく、感染者と関わりがあり心配な人々たちを、早期・広範囲にPCR検査につなげて治療し、感染拡大を防止することです。

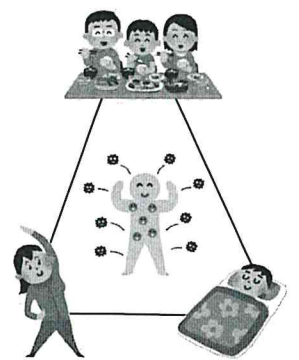
しかし、全国的には感染した本人の責任追及や立ち寄り先を

公表した施設の誹謗中傷、また、医療・介護に携わった従事者や社会生活維持に係る流通・運送業者へのこころない仕打ちなどが発生。これは、国民同士が傷つきあう姿であり、内なる力を弱体化させるだけです。まして、自分との間に線を引き、相手を異質(異物)な存在として排除する言動は人権侵害です。

公表した施設の誹謗中傷、また、医療・介護に携わった従事者や社会生活維持に係る流通・運送業者へのこころない仕打ちなどが発生。これは、国民同士が傷つきあう姿であり、内なる力を弱体化させるだけです。まして、自分との間に線を引き、相手を異質(異物)な存在として排除する言動は人権侵害です。



今やるべきことは、最前線に立っている人々たちを支援することとはもとより、すべての人が結束してコロナウイルスに対峙し、感染防止と経済活動を両立させることです。それゆえ、排除の人権侵害か協働の人権尊重かが問われています。



第二は、個人として①免疫力と②防疫力を高めることです。

- ① ↓食事・睡眠・運動の3要素。
- ② ↓3密を避ける・手洗い・咳エチケットのマスク着用・人と1m〜2mの距離・唾液を受けないなどです。

第三は地域・校区として、ウイズコロナに向け、随所に新しいことを起こし人権・福祉の共生社会づくりをしていきましょう。(例えば衛生都市を目指すなどです。)

## 米国人フロイドさん 暴行死は世界の問題

5月下旬、米国でまたもや繰り返された、白人警官の不当な暴力による黒人男性の殺害事件。(同類の事件はいくつも発生。)白人警官の膝で、約8分間首を地面に押し付けられたジョージ・フロイドさん(46歳)は、

「息ができない!お願いします。」

「助けてください。」と必死に訴えたが、警官は膝をどかさうとせず死に至らせた。

この事件を受け、全米のみならず世界各地に人種差別に対する「ブラック・ライヴズ・マター」(黒人の命は大切だ)の運動・デモが一気に拡大。黒人に対する暴力と社会システム全体に広がる人種差別の根絶を訴える人権運動です。



アメリカには人種差別を禁止した連邦公民権法(一九六四年制定)が存在しますが、背景には、根深い白人至上主義

がもたらす人種差別の実態が依然としてあります。国際社会に生きる私たちは、常に真の平等や人間の尊厳を追求していかなければなりません。

フロイドさんの最後の言葉、

「膝が首に。息ができない... ママ、ママ。」



令和2年度 宝木校区人権啓発推進協議会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、鳥取市のガイドラインに従い、役員の皆様による書面議決での承認となりました。以下のとおりご報告いたします。

- 集計数 18名
- 議案集計結果
  - 第1号議案 平成31年度事業報告・平成31年度収支決算報告書および監査報告の承認について
  - 第2号議案 令和2年度事業計画案および収支予算(案)について
  - 第3号議案 規約の一部改正(案)について
- 第1・2・3号議案ともに 賛成:16名 反対:0名 未回答:2名
- 結果 すべての議案について過半数の賛成をもって可決されました。

令和2年度 役員

職名	集落	名前	区分
会長	夏ヶ谷	秋山智博	解放同盟気高支部長
副会長	富吉	吉田和行	宝木地区公民館長
	酒津	西垣守	酒津地区公民館長
人権啓発推進員	夏ヶ谷	秋山智博	解放同盟気高支部長
	宝木	小塩信親	人権啓発推進員
	酒津	入江徹	人権啓発推進員
部落代表幹事	酒津	西尾雅彦	部落区長・福祉委員 気高地域振興会議委員
	上光	門脇誠	部落区長・福祉委員
	下光元	池原準	部落区長・福祉委員
	夏ヶ谷	山本一夫	部落区長・福祉委員
	常松	谷口洋二	部落選出人権学習推進員
	富吉	加藤祥照	部落区長・福祉委員
	宝木	山根哲博	部落区長・福祉委員
	水尻	山根敏彦	部落区長・福祉委員
監査	酒津	谷澤譲	学識経験者
	夏ヶ谷	居川結香	学識経験者
顧問	酒津	河根裕二	保護司
	上光	岡田寿晃	学識経験者
事務局	宝木	塩田三奈	宝木地区公民館
	酒津	奥谷小百合	酒津地区公民館

令和2年度 部落選出人権学習推進員

上光	門脇誠	宝木	尾崎博行
	門脇晴美		桃実友子
下光元	池原準	水尻	山根敏彦
	小谷智大		梅原徹
夏ヶ谷	秋山智博	奥沢見	谷中篤
	山本登志子		西垣守
常松	谷口洋二	酒津	澤田保男
富吉	加藤祥照		

令和2年度 事業計画

期日	会	研修	広報
4月	監査会・総会		
5月	三役会		
6月			人推協だより発行
7月		推進員全体研修会	
8月	三役会・役員会		講座・集会・大会
9月			
10月			
11月			
12月	三役会	推進員全体研修会	
1月	役員会		
2月			
3月	三役会	交流会	人推協だより発行

新型コロナウイルス感染症が鳥取県でも5例目が発生し、心配な状況ではあります。これからの暑い時期、3密を避け感染防止に努めると同時に、熱中症にも気をつけましょう。コロナ禍の中ですが、地域の皆様と一緒に、身近な人権について、学べる事業が開催出来ることを願っています。

編集後記

役員・学習推進員の皆様、1年間よろしくお願ひします。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、事業が、延期または中止になる場合があります。